

岩崎敬東

いわさき
やまくん

教育家。安政四年讃岐國生れ、昭和二年四月二十六

日歿（八五七―一九二六）。本名行親。別號敬天齋。父は住吉神社宮司岩崎

致行。幼くして國漢學を修め、大學豫備門を経て明治十年札幌農學校

に入學。同期生内村鑑三、太田（新渡戸）裕造等がキリス卜教に入信

したのに反し、終生日本精神の把持者として所謂國士の道を貫いた。

二十四年第七高等學校造士館館長。大正七年福山の中學校を創設して

校長となり、校内に敬天塾を設けて青年子弟の教育に盡瘁した。（由郷

隆盛の私淑して敬天愛人の精神を鼓吹、郷人に福山聖人」と稱す。

著書に、『日本敎訓詩』（昭和二年十一月十日鹿兒島・敬天舎「敬天舎

叢書」）、『岩崎敬東先生詩歌小集』（昭和四年四月二十六日鹿兒島

・敬天舎「敬天舎叢書」）、『國體詩』（昭和十一年十一月五日鹿兒

島・敬天舎「敬天舎叢書」）等。